

## 堺市堺区区民評議会 平成 27 年度答申（概要）

## 「歴史的・文化的資源を活用したまちづくりのあり方」について

## (1) 現状及び課題

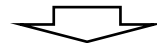
- ・堺区には、百舌鳥古墳群や神社・仏閣など、歴史的・文化的資源が数多く分布している。
- ・刃物や自転車などの伝統産業が健在であり、「匠の文化」を見て、触れて、体験できる環境が整っている。

- ・それぞれの資源が点在しており、十分に活用できていない。堺区の資源に光を当てる取組を進めることが必要。
- ・資源の維持や活用に向けては、区民自らが地元の資源を堺区の魅力として共有し、区民意識を向上させることが必要。

## (2) 方向性

<基本方針>

身近な資源を「発掘・再認識」をすることを通して、これらの資源に対する「区民意識を向上」させ、「活用や資源化」に向けた取組を進めていく。



訪れたい、住んでみたい、働いてみたい、子育てしたいと思えるまちへ

**発掘・再認識、区民意識の向上**

区民主体で、埋もれている歴史的・文化的資源を発掘する取組を進め、地元で誇りや愛着をもつことができるきっかけづくりを進める。(地域資源発掘等については、外部から視点も重要)

- ・地域の埋もれている資源を発掘・再認識するために校区ごとの歴史・文化を紹介する冊子などを作成
- ・小さい頃から積極的に「地域資源」に親しむ活動を促進。
- ・昔の様子を振り返ることができる案内など様々な情報発信を検討 など

**活用・資源化**

堺区の資源に光を当てる取組を、地域との連携のもと、一つのモデルとして大道筋で展開する。そのためには、基本構想やアイデアなどを検討する「場・しくみ」を構築し、取組を検討する。

- ・堺区内で活動している団体や個人、企業などが集まる「場」を構築
- ・許認可や町家の保存など、まちづくりの取組をすすめるにあたっての様々なハードルを取り除く方策を検討
- ・地域資源としての町家や寺社、お茶文化を活用することが重要 など

※ 上記の実現に向けては、効果的な広報のあり方も検討することも必要。

<今後の方向性>

テーマを絞り、引き続き検討を進め、特に喫緊の課題である「町家やまちなみの保全・活用」について、重点的に検討を進めることが必要。

## (3) 具体的な取組例

区民評議会の答申を踏まえ、校区ごとの魅力ある資源の発掘・発信、地域で活動する団体、個人、企業などが集まり、まちづくり等について検討する「場」の構築などの取組を進める。